



御坊東ロータリークラブ

Club Weekly Britain



SERVE TO CHANGE LIVES

四つのテスト(Four way Test)

- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会 水曜日18時30分 御坊御坊商工会館3F
 事務局 〒644-0002 和歌山県御坊市齒350-28(御坊商工会館3F)
 連絡先 TEL 0738-23-2334 FAX 0738-22-1234
 URL <http://gobo-rc.jp/east/>

会長 北垣 剛
 副会長 小池 佳史
 幹事 細川 幸三

☆ 司会進行 SAA - 森 裕之 君

京都RCメンバーで、2650地区のガバナーであり、過去にRIの理事を務めた。国際ロータリーで日本の代表として卓話。

会長告知

会長 北垣 剛 君

皆さんこんばんは、コロナ感染者の少ない中、良いタイミングで世界的ガイドブック「ミシュランガイド」に今月初めて和歌山県内の店舗が掲載される事が決まりました。

ミシュランガイドは、タイヤメーカーのミシュラン社がタイヤの販売促進と顧客サービスの為に車の運転者向けのガイドブックとして地図と共に編纂したのが始まりです。

人気となった理由は、覆面調査員による秘密の取材・評価方法と店の美味しさを星で表示するという評価方法だと言われています。



まだまだ油断は、許されない時期では有りますが この機会に大切な人と素敵な時間を過ごして頂いたらと思います。

ミシュランガイドの発売日は、10月22日です。



西宮神社での献茶式で、柄杓に手を伸ばす裏千家の前家元、千玄室さん

1943年に海軍に入り、1945年に特別特攻隊に志願し転属。終戦により除隊。その後同志社大学法経学部経済学科に復学。1950年ハワイ大学に修学。日本青年会議所会頭に就任。その後ボストン市名誉市民、ホノルル市名誉市民として選ばれる。京都大学大学院特任教授・大阪大学大学院客員教授として伝統芸術研究領域における指導・外務省参与、ユネスコ親善大使、日本・国連親善大使、日本国際連合協会会長、日本オリンピック委員会名誉委員・小泉純一郎首相の時に海外へ同行しお茶をたてるなどその他諸々努めている。

1943年海軍に入り、1945年に特別特攻隊に志願、そして特攻隊で生き残った一人。特別特攻隊とは航空機などにのったまま自らの命もろとも敵艦に体当たりすること。

千さんは太平洋戦争を体験し特別特攻隊という、死を避けられない任務を若い兵が命じられるという理不尽なところが許されていないのか抑えようのない怒りだった。戦争への憎しみからお茶の精神で戦争をなくしたいと願う。「和敬清寂」という言葉がある。千利休が説いた茶道の龍髓となる精神。『互いに勧め合う(和)、身分に関係なく尊敬しあう(敬)、清らかな気持ちを持つ(清)、そして、動じない(寂)。この哲学が茶を通じて戦争のない世界を訴えるという千さんのバックボーンとなっている。そのあとユネスコ親善大使や日本国連合協会会長など100の役職をもち世界各国で献茶式を開き争いのない世界の実現を祈って自らの戦争体験を講演などで話している。



幹事報告

幹事 細川幸三 君

- 御坊市地域子ども見守りネットワークの案内が来ています。参加される方は事務局に確認をお願いします。
- 地区から「ロータリークラブにはいろう」という参考本が来ています。

ニコニコ箱

SAA 森 裕之 君

◇細川幸三 君 いつまでも暑い日が続きます。

出席報告

会員数	欠席者	出席者	出席率
15名	3名	12名	80.0%
9月1日	の修正出席率		なし

本日のプログラム

「元特攻隊員、裏千家 前家元 千宗室」

千 玄室(1923年生まれ)
 茶道裏千家元15代。本名は千 政興



「戦争まだ終わってない」元特攻隊、98歳の裏千家前家元

元特攻隊員の裏千家前家元(その1)

争いない世、茶の精神で

兵庫県西宮市で2021年4月19日、山崎一輝撮影98歳になった今も聞こえる。しかも言葉一つずつが鮮明に――。

「お前に任せたぞ、と死んだ仲間の声が聞こえるのです」

死んだ仲間。それは太平洋戦争で航空機などに乗ったまま自らの命もろとも敵艦に体当たりすることを目的に出撃した特別攻撃隊員のことを指す。茶道裏千家(京都市)の前家元、千玄室さん。日本文化を代表する「巨星」であり、そして特攻隊で生き残った一人だ。死と背中合わせだった海軍での経験から、茶の精神を通して争いのない世界の実現に心血を注ぎ続けている。

桜の季節は終わったが肌寒かった今年4月19日。誕生日を迎えた千さんの姿は、西宮神社(兵庫県西宮市)にあった。福の神を祭る神社の総本社。毎年この日に献茶式を行うのが長年の習わしだ。

身長約175センチ紺のスーツ姿と整えた白髪が相まって、茶人と思えない印象を受ける。背筋を真っすぐに、一步一步の確かな足取りは年齢を感じさせない。

敗戦から75回目の夏が来た。茶道裏千家前家元の千玄室さん(98)は学徒出陣し、特攻隊員となった体験を持つ。戦後、六十数カ国を訪問し、茶道を通して世界平和の実現に向けて活動してきた大宗匠は、自分にとっての戦争はまだ終わってないと言う。平和とは何なのか。どうすれば手に入れられるのか。他人同士でも家族のようになる場づくりを目指す藤代健介さん(32)、伝統文化を通じて心の豊かさを提案する矢島里佳さん(32)と語り合った。

沖縄の海でお茶を点てる

千 今年には戦後75年。沖縄へ慰霊に行ってきました。慰霊祭は毎年開いています。ご遺族も少なくなりましたが、お連れして、お茶を点(た)てて一服差し上げ、祈念してきました。私も沖縄のどこかの海で死んでいたはずでした。生き残って忸怩(じくじ)たる思いです。毎回のことですが、戦友の名前を呼んで拝みました。

藤代 大宗匠は戦争体験をされた上で、国連などで平和活動をしています。平和に対するとらえ方、リアルな平和観をうかがいたい。平和とは何でしょうか。

千 私は戦争末期に大学生でした。当時は20歳になると徴兵検査を受けなければならなかったのですが、大学生には徴兵猶予という制度がありました。願いを出して許されると、卒業するまでは徴兵検査を待ってもらえる。兵隊のことはあまり考えなくていいと思っていました。

私の家は茶の家元ですが、武家でもあった。私は大正生まれでもあり、小さい時から、武家の作法で、茶の家の跡継ぎとして大変厳しく育てられました。背が高く、乗馬もしました。体には自信があった。

東条内閣によって、理工系はいいが、法文系の学生は徴兵

猶予を取り消され、1943(昭和18)年、徴兵検査を受けました。体が良かったので合格しました。

親しい仲間10人のうち8人は陸軍へ行った。フィリピン、中国、旧ソ連などへ行って、ほとんど亡くなりました。2人は海軍に。私は海軍の適性検査を受けました。通信、航空、主計などのコースに分かれていて、私は目が良かったので航空隊にとられました。土浦(茨城県)の海軍航空隊の予備学生となり、2カ月半の士官教育を受けました。

海軍には「型相判断」というのがありましてね。最終検査の時、名前を呼ばれて前に出ると、じっと顔を見られた。左右、後ろ、手を見て、何か書いている。何故こんなことをするのか分隊長に聞くと、「大学から来た連中は貴重な人材だから、事故で死んでもらっては困る。だからそれを見てもらっているのだ」と言う説明でした。

配属先の発表は3日後にありました。私は大学時代に水上機の操縦訓練を受け、単独飛行もしていたので、水上機に行くと思ったら、「陸上機に回ってくれんか」と隊長から言われてね。「水上機ならすぐに役に立てます」と3度言いましたが、「上からの指示だからダメだ」と言われました。隊長は「言いたくないが、お前には死相が出ている」と言う。日本大学出身で後に俳優になった戦友の西村晃にそれを話すと、彼は「出ていない」と言うてくれましたが、命令に従って、私は行きました。

日本の飛行機は優秀でねえ。機体が軽金属で造られていたので、スピードが出る。だが、操縦席の背もたれが薄くて、後ろから撃たれたら弱かった。私が乗った偵察機は大型機で、1年3カ月かかる教育を10カ月で受けた。殴り飛ばされ、大変な毎日。訓練は死にものぐるいで、「ああ、よく今日も生きていたなあ」というものでした。

そうしたなかで、飛行機と一緒に死ぬのだと自己認識しました。いろんな意味で悲しく、苦しい。自分で気合を入れ、朝来て夕方まで訓練、昼飯なんか食べている時間もないほどでした。

飛行機の操縦では、上がっていく高度、時速、風速、風の流れなどを計算に入れなければならない。操縦しながら、高度計や速度計、油圧計などの計器板を見ないといけない。操縦のこっちはお茶のお点前に通じるところがあると思いました。



今日のうた

4つのテスト

次回例会のご案内

★10/27 例会はクラブフォーラムです。